

新型コロナウイルス感染症対策で、マスクは生活に欠かせないものとなりました。しかし、口の動きや顔の表情を見ながら相手の言いたいことを読みとる聴覚障がい者にとって、マスクをしていると、何を言っているのか、あるいは自分に話しかけられているのかさえわかりません。手話を少しでも覚えると、マスクを取らなくても簡単な会話ができます。まずは、あいさつの手話から始めてみませんか。

おはようございます



こめかみにあてた右こぶしを下ろす

こんにちは

▶ 正面



▶ 横



立てた2本の指をそろえて額の中央にあてる

こんばんは



開いた両手を左右から引き寄せ、目の前で交差させる

ありがとう



ひだりてこううえみぎてちよつかくの、みぎてうえあげる

丹波市手話言語週間

だれもが社会参加できる、こころ豊かで住みやすい丹波市をめざすため、手話を広める活動を実施しています。また、12月19日～25日を「丹波市手話言語週間」とし、この期間は本庁第2庁舎に勤務する健康福祉部の職員が、来庁者全員に対し『おはようございます』『こんにちは』『お待ちください』『ありがとう』の簡単な4つのあいさつを手話で行います。この機会にぜひ、手話への理解を深めましょう。

12月3日～9日は「障害者週間」です。障がい者の福祉についての関心と理解を深めることを目的に、市内の公共施設などで啓発グッズを配布します。ぜひ、手に取ってみてください。

